道中記

全

潮の満干の事

○大潮●中潮■小潮

初日○朝六ツ半分　暮六ツ半分
二日　朝六ツ八分　暮六ツ八分
三日●朝五ツ三分　夜八ツ二分
四日　朝五ツ六分　夜八ツ六分
五日　昼四ツ　夜四ツ
六日　昼四ツ半分　夜四ツ半分
七日■昼四ツ八分　夜四ツ八分
八日　昼九ツ二分　夜九ツ二分
九日　昼九ツ六分　夜九ツ六分
十日　昼八ツ　夜八ツ
十一日　昼八ツ四分　夜八ツ四分
十二日　昼八ツ八分　夜八ツ八分
十三日　昼七ツ二分　夜七ツ二分
十四日○昼七ツ六分　夜七ツ六分
十五日○朝六ツ　暮六ツ
十六日より朝夕へのどりかるえ

初紀州より中うの事

上旬	中旬	下旬
三日	三日	三日
七四	七四	七四
八八	八八	八八
九十	十十	十十
八八	八八	八八
七九	七九	七九
八八	八八	八八
七九	七九	九九
四八	四八	四八
六六	六六	六六
四八	四八	四八
六六	六六	六六

大坂より江戸までの道程

大坂方　なかるる　二百五十四文　くらかた　弐百四十五文
人足　百七十八文
里　ちかい　佐右天狗

牧方方　ひらかた　なかる　人　弐百十四文　百三十七文
三里半　楠葉

淀方　よど　なかる　人　七十四文　四十九文　三十六文
五十丁

伏見方　ふしみ　なかる　人　弐百四十七文　百五十七文　百二十三文
大津まで　四里八丁

大坂より大津まで

十四里四丁　日　なかる　八百九十三文
日　くらかた　五百九十二文
日　人　四百十四文

京ノ

三里余　五協

家　弐百三十九文
男　百六十四文
人　百十九文

寛元三条ふいふ〜〜一里塚ゑ
今ぞ〜〜これより東へ行
べき三条小橋ゑさ四間三尺九寸幅
三間六尺六寸同大橋ゑさ六十七
間三尺八寸幅四間一尺橋の東西
小旅人宿屋〜〜みすや升
名あり右小四条の川ふ
六条の橋大仏ひがし山ことぐくゑゆるぎ〜〜ぎをん
清水ちをん院ゑ山ゑ見あり
ゑんてとてちや屋ゑくあり
三条橋西ゑ西ゑ町白川橋
おきゑ社ゑやおふありちゑう
川橋ゑ三町ゑとゆけゑふ
ゑんぜんちゑうゑゑう〜田白
川へ行ゑありちんめいのゑや
けわげのゑとてちいさゑ地
あり書ゑんきうでありひ
のとゑきうげのちゑ屋まで

三条社ち〜〜ゑ一里あり左ふ
ちのゑゑ川ふ十ぜんと大智天
ゑうれけびゑうゑ山ちゑゑに
ゆびの下たぞこゑ山ちぞうう
ゑおいゑとけ右の方ふゑあり
見ふふ〜〜ゑ人ゑゑるゑ〜〜ゑぞ
石ぢ〜〜ゑ山ゑけゑ三軒ちゑや
ゑ山ぜゑきゑゑとて歩るゑ宿
ふいけのゑゑとちゑやおゑくあり
あふきゑうふいゑゑ左ゑきのゑゑゑ山ゑ
きゑうゑ山ぜゑきゑの北軒とて
せゑ左ゑの六ゑゑ山ゑ山ふぜゑきの
ちゑうゑ山ゑ八町ふゑ下れ北軒ゑ
町ゑぢふ北の辻ゑ見ゑ山ゑ三
軒ちゑる駅者あゑうゑ山ゑ海
のうゑくのゑうゑ山ゑ山ゑ
古城のゑゑ山ゑ海ゑのゑあり
ぜゑきゑゑとて山ちゑゑゑゑの下
へゑるゑあり

宿吉

大津ノ

三里半七丁　五協

家　弐百三十六文
男　百六十一文
人　百十七文

れなる村ぶるのつゝ尾ゝかやぞせ
のゝとゝ一りゐこぞんぞ村ふ
川二つゐこ二つめの川りろこ川と
云川がまんんの泉三げんめ川う
らにゝそゝ友のぼゝゐこおいづの泉
ようゐづゆちゝゝこの一川まが
たくのゝらひらゐ山ゐゐぞ拡
なゝんゆるゝぜゝたふ八まんの泉ゐ
ちんらゐ祈れゝゐゐりぼゝあ
里ゝゐろ氏つゝゝと中の庄村ゝゝ
氏ふおいゝのゐゐわゝのめゝ
と泉ゝせゝるだゝゝゝゐゐだ
いの泉ゐゐゝてゝが山ゝゝゝうと
そゐゐゝゝゝぞゐ氏ふゝと隠ぞゝ
いゝゐゐう猪ふといひゝと今ゝ略
してぞゝゝいゝゝちふ塚ゐゝ城
立本ゐゐゝうゐ河村入にふれ泉
ゐゐ三三町狩にふれの田の中ゐが
糸ひらの法ゐゐゐ氏ふがゝ在八八
いゝゝゐのゐゐゐゝて村町小猪ゐ
ゝゝゝ氏ゝ間ゐふゐゝゝの猪ゐゐ夫
猪九十六間猪のゝくがゝゐふ在ゐ

ちれたゐうゐ八ゐゐゐゐゐ多い村ゐちの町ゐゐゝふゐゐのゐられ里のゐゐゐ在にふゐゐゐ月のゐのいゐゐとゐむ
ゐ月れゐちゐゐふゐゐういゐゐ
のちゐゐれいゐゐゐ天ゝゝ下八十
ぜんゝいゐゐゐめいゝゝゐゐ
ゐふちゐゐゐれゐいのちゐゐ
と云ゐゐゐゐ見ゐゐゐ八ゐゐゐゐ
ゐゐ八ゐゐゐ人ゐふゐゐゐのゐゐ
ゐゐふ町ゐゐゐゐゐゐれちゐ
ゐゐゐんのゐれゐちゐゐゐわゐ
ゐゐをゐゐゐゐゐんゐゐといふ

笠原村 なゐ 百九十四文
ゐゐ 百二十ゐ文
二里ゐ七丁 人 百一文

新中き村ぜふゐゐ村日川村
同川 ゐのゐゐふゐゐ一ゐ湯
村入にふゐいゐゐのゐとてぬま
ゐゐんのゐのゐゐゐゐゐんゐゐ
ゐゐゐゐのゐゐてゐゐれゐふ
ゐゐゐゐゐゐゐの社ゐ野ゐゐ

梅乃木　せきの茶屋あり　宮りやり立場

石部　本　武百七文　名百三十一文
三里十二丁　人百二文
西立場宮りと山間乃ふろ
○一里塚あり
東立場くぐりあり
白砂川　橋かりとあり　平蛮
むら　かうじ　ふくろ　ちり村
立場夏目村　名ばかりとろてん
○一里づかあり　三雲村　左ふ
ないたいの文の三本松
あるむらなりり川
田川村　宮りり立場
横田川　大郎ふ　松ふうあり
○　里づかあり
立場　いつみ　名酒　ちら
泉　縄文　松ゐみ本あり
小ふる　左ふ　義田八まん社
立場　ゐる場先
○一里塚　左ふ　一つあり

水口　本　百七十六文
二里　十一丁　人八十八文
此宿名物　こうりこせう
ひんなと村　ひぐりふ布引山
あり　左ゆまはてけぐさ
栗林村　宮りやりあり
栗林　ぜんざいのちゃ
新堂村　左ふ　宮ふ　山ふ　源
ゐる　石山寺　一ふと
ながれて　旅人　名ちゐす　景
清力ちらべつ　義つよ　に
かけいつ　矢けいがらべ
つ　今　左ふ　村　○一里塚
今宿村　いるの川　左橋あり
大野村　宮りやり立場
名産　ゐの　升　名酒
法ふ村　そう村　○一里塚あり
いちぐむら　まへのむら
松尾村　宮りやり立場
まつ尾川あり
うれしりなるろ

大山方

家　三百十六戸
人　二百七人
百八十四人
二里半

山方ゆく二十六丁あり。
〇一里づゝあり。このむら
にはこうがらの川、能美郡
すゝとへあり。いくのちや
屋あり。あめとでんぐて
うるくたちかりとぞ。
さ十三間あり。そのうへの松
山ゆて田村あるうらんさま
んとうくらいたまひしろ
あり。かゞ坂かゞせきと
うハ坂のうへ右のかうか
妻二本あり。いのさるちや
屋ちゝ。ものづくいせ
ふきのさういあり。そ
の外あり。坂のうへ小田村
ごうあり。坂の下町北原
ちゝあり。山さらのうへ
あるこうえみるちの
坂。山ことぐくうんゆう

坂の下方

家　百六十三戸
人　百六十七人
一里半

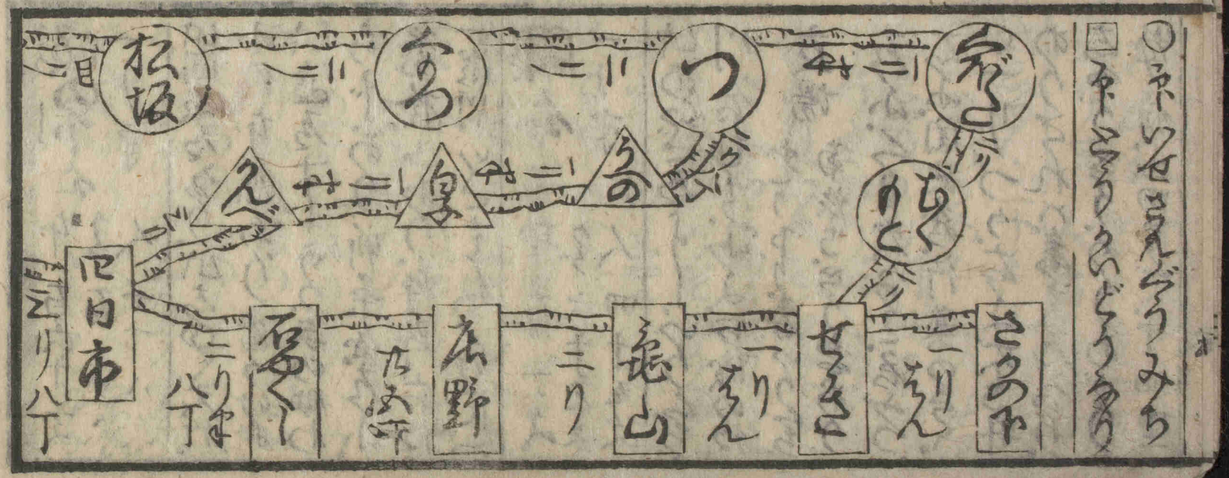
山間坂ゆあり。山ちゆく大竹
小竹。竹藤あり。当うけ村
山ゆ乃すゝうる。その中わ
らゞおう。新柔屋乃小
麦桧山あり。特野右の
一流川。いこもねうけ。

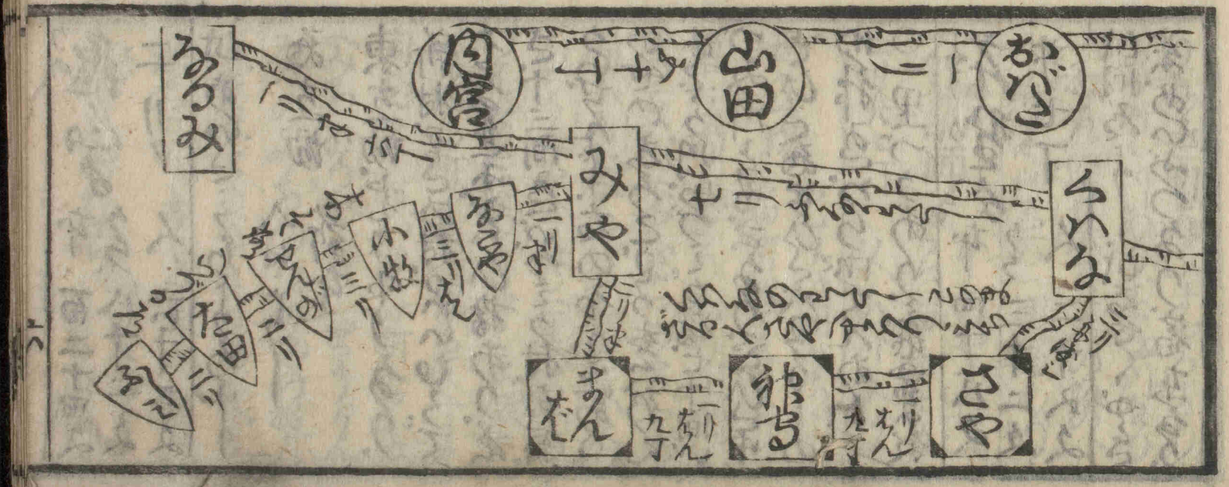
関方

家　百一戸
人　六十三人
四十九人
一里半

山あいゆ乃うゝ。いうちち
川合むら。小ゆ。古城の右
立場　北りゆり。当いうち
南係ちゝうゝあり
右ふゝ。ゆ山ゆ。右ゆ
右ふ。関地義行基のさく。
〇一里づゝ。右ゆ。大ち井
あり。これ。第ゆ乃あり。
右ゆうゝうゝあり。
物部山田まで十四里

○おいせさんごうみち
□おさうらいどうみち





亀山宿　百二十四文
二リ　人　六十二文
けあいざうちやうろう
西立場　入口
東立場　新宿
東立場、先り下りなり、
新村、そこの村、いいむらで
ちやうの上ふかわひ橋あり、ふ
さ十三間ほどいづこう村、右手
うぜんで、右のやうにあり、
いせのちやうこ、ろ変へ、
ちやうこ、いづこう橋七十間、
づみ川とも、ちやうこ、
とひこ、あとひこ八ちやうこ、の
ゆ井ほこ、ちやうけてんあり、
○一里づつあり、亀山より

関宿　四十八文
二リ　三十二文
廿七丁　人　二十四文
けあいざうちやうこ、ちやうく、ゆき
米、めいぶつあり、宿なり、

うのき町、右ふすぐうり、
みぎうく川あり、ちやうけ
けてん、左の方ふ、右の坂の下
ふ、名茶師あり、○一里坂あり、

石薬師宿　百七十六文
二リ九七丁　人　八十四文
西立場　先り　けあいざうちやうこ、
宿町、八丁ばかり、
東立場、ぐうりなり、ぐうり
町の東は茶屋、右の方、右の
内ふ、ほこ、右、茶屋ほこ、小谷、
ぐうり茶屋ほこ、○一里づつあり、
つ、ほこ、村、つ、ほこ、ほこ、
う、ゆめ町、まふ、橋ほこ、六十文
間、ぐうこ、村、ぐうけ町入口ふ、
みちあり、いせ、ひ、ぐうぐん
ほこ、のみちあり、ひ、みの村、
ふ、変氏、ちやうこ、これ、みと、天
照大神、ちやうこ、ふ、あり、
遊行けむら　まんぢう
めいぶつ

小安の川　紀州紀ノ国より出て伊勢ノ川

日永村　まんさんえんのいぢ
ゑんの茶屋あり

四日市ノ宿　本　一百十四文
名　百三十七文
三里八丁　人　百六文
東西町

四日市ノ宿より海上十里船ちん
ノ合　一人ぶ　七十三文
むろ　さ牧　四百六十四文
ふりつ　一荷　七十三文
本　結荷　百七十二文

ちんていはし　此間ふたつ川と云
川あり　さてこのはさたいもの
此間町なくなの浪くらくらの宮
ふうのばさあり　茶石名あり
まくら　白うとあり　川中
尾張勢州国ざかい　川中
なのりぐけい　ふろしき屋名
右金ハ坂立ちゆる　宿あり

桑名ノ宿　ひるセッきさこい
ふれ　ノ

文まで海上七里　弘法
ノ合　一人ぶ　六十三文
荷ぶ　一荷　六十三文
本　結荷　百八十一文
むろ　一枚　四百十二文
馬一疋に付九　六人ぶ
名　一結　八十四文
ノ切四人ぶ　二文百九四文
内　人金　三文八十一文
内　六人ぶ　三文四百五十五文
ふ毋ちこ　八ちこて川のすそ
あり　ふ　ぶれんのりりのく
ちゑ　ちー　ぬれいんすー
されど　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
あーく　さる　ますりてはに　二里
狂川上ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
のさあん　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
ちろ　さ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
ノ合　十九文

佐屋ノ宿　本　六十九文
名　四十六文
一りす　九十人　三十四文

神守分　本六十九文
　　四十六文
　　三十九文
　　人
　　二十二文
　　五十文
　　十二文
　　人
　　八十六文
　　五十七文
　　四十七文
　　人
　　一文
　　六十三文
　　四十九文
　　人

宮分　本百
　　六十三文
　　人

一里塚

川間　熟田大明神の大鳥居あり
の間富る金ぐらあり夜燈あり
所濱に蔓あり小原大夫の屋敷
紀宿あり小原大夫の屋敷
田宿絲を紡ぐ　西ゑきえ
びす大黒天右へ曲り　小海あり
あり　すぐに熟田名古屋あり
あり　これより城下へ五十丁
中仙道方へ行　又名古屋本町
右へ行　本曽道へ少し道

さん田橋　いとぐり十二間
金ぐり川　そうず川　とうふ石
そうず川　姥堂あり
築出川　ぐり立切
一里塚あり
井戸田川　板橋二十間
茶屋あり　光寺あり　光り下り立切
一里づゝ勢多　紀然ぐり
仙人行　行　本斗　本ふ
あるみとい　ふあり
田島橋　いとさ　九七間
小橋四間　二ふ

鳴海分　本百七十六文
　　五百十九文
　　二里九丁
　　人八十九文

東立切下り　方ゆ大神宮遥拜ふ　勢多宮
　　正西方
一里づゝある町とふ
有松村　ひさごろ　ぐりぐ
　　めぐりあり

為谷村 右今川義元塚也
左山崎ぶみ人塚也
若江村 宮ノ下立場
○一里塚 あの橋ゝ西あり
阿野村 あのゝ山もいふ
名所名物あり
三河尾張ゝ境ゝ川あり
ゝ中ゝ西ゝ方ゝ境ゝ
尾張方ゝ橋ゝ
橋あり ゝを川村ゝ
ゝ
今岡村 ゝ立場
名所ゝあり
○一里づゝあり
池鯉鮒 本二百四十七文
高百六十一文
三里卅丁 人百二十四文
ゝ間ゝ
ゝ間ゝ小ゝ村今村茶屋
間ゝ
のゝ
ゝ
ゝ
ゝ西ゝ

にゝ
ゝ
ゝ

東立切りあり
茶木村　そ忠たゆる
茶木村はたゆるうり山を
山中村はたゆるあり後ゞ
又縄敷名あり
○一りづゝあり
家数百村　宿りあり
赤坂宿　本　百二文
うち九二文
十六丁　人十七文
ごの所のあるうとて所ろ
ろさ右の方ゆるゝとあり
北二本　ゆるゝ坂の北へ北
宿　旅安あり　宿うゝ
清洲宿　本　百六十文
うち百　文
二りす四丁　人八十文
此間ろうゝ　おゆるけ
いあり　宿　清洲あり
国府　宿りゝ　うり
あゝめいぶつうり
八幡橋　此間三間橋あり

茶屋町　右　長　家数　茶屋
吉田宿　本　百六文
うち六十六文
一りす　人　十文
此間ろうゝ　松林あり　大
ろゝ　ゆるさ百二十間　三川一ア
新町　東　出ゝ　ゆるゝ
外　角ふ　加右　ゆるゝ
いふ　ゆるゝ　名　あり　の
りゝ　うり　方
山中橋　ふ右巻　山　ゆ
る　○一りづゝ
戸塚村　宿りあり　方
岩屋　観音
大井坂　ゆるゝ
二川宿　本　九十四文
うち六十三文
一りす六丁　人四十六文
此間ろうゝ　方山　ふ
八ゆゝ　ゆ　石　此一里
の間　林　ゆ

一里づゝ。左側ゝ山つゝ
くけりの塚とて。一里ゝ村。
有ル。田ノ原山見ゆる。二筋遠
別。國ざくに境川ちゝ。
藤ゞゝる。柏ゝちゝのぶつ

白須賀　本百十文
ら七十文
一リ九六丁　人　八十文

此間坂ゝ石ゝる。ゝ。
宿入口。庚申堂ゝ。此宿。背
後見坂ゝ。ゝ孫の。家ふう
ゝ。後見坂。遠加七十五里
激ゝゆる。ゝ山ゝ。ゝ見あて
たゝ。どうゝゝあり。
ゝ白須賀山上。富士山ゝゆ
る。のゝりゝ。ゝ。

○一里づゝ。橋ゝ村。濱名里。
十町ゝゝあり。ゝ。
ゝゝゝゝゝ。むゝ
ゝ。橋ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ山。
ゝ。

荒井　一名ゝゝ　ゝ百八十文
海上一リ　ゝ人数ゝ
ゝ。ゝ。

荒井。海。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。

舞坂　本百七十文
ら百十文
三リ九十　人八十文

此ゝ。ゝ。ゝ。

宿

○一里づゝあり。
つゝの村。ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。

濱雲　本　三百ゝ八文
ら　二百十四文
四リ八十　人　百六十二文

山ばたにあり。清水出る。
一ゑびがわ。此川ながら長七十四丈
うゑ。松村より。此長さ廿三
間。ゑびがわ村。町乃入口。
右ゑびの西の方。村の左の方
あんま橋。長さ十四間。石ばし
此所や大こ石ばしつゝ川。
上ふいけざの石ばし。此石のやま
ぶ中ふゆゑのせきたうの天
ばう。なのり。ゆとらくふいふ
けつ。つのりとゝ。いつきゆ
市ばれてん。此所の入口ふ小坂
此ゑみ村町のでゝ。此ふ。ふ
ゑ。ゆふ。此ゑ。ゑ。ゑ。

ゆふ白田ばかりにて家ゐ村
十八丁そうりぜりさよ
里大地村少橋落合秋葉
山ゑあり行程九里半
二瀬川いづくあり

懸川分　本　百十九文
ろく　七十四文
二リ廿九丁人　八十九文

此間ろくろ大賀町
あいさつ　是袋名あるう
なりけり　そのかわらの
のゆ右ゆ西ゆつ坂町入口ふ
小橋あ三ぎ三十六間石の橋乃
ちふやらあ三それ名ちの出

日坂分　本　二百ろく文
ろく　百三十六文
一リ　廿九丁人　百三文

此間石地坂ろくろ
さよの中山ふ此茶屋あ三
まぎ村の内ふろけ山むし
けんのうのあ三ろえ三くり
うあや坂ふろうびりちのあ

め名あ三菊川村立物ふ
めーでんぐ矢根つぐあ三

金谷分　本　百七十三文
ろく　百十二文
一リ　人　八十一文

此間石ろくろさるのぶろう
大井川ぎろくとくこのさ
うひえむらの流中流れいつ
山川ぎそうらいのこび人必
ひのかれ金流と川ごーふと
らくこ流田と金やとのむま
くり川ごーとこいうーおこ
さとくしゅくこゆと書り
こーぶけのあゆ二百三百
ごえなりのりうけあゆこ流
田ゆ金谷ゆ宿をえ川越の移
ぞえうあうるげこ川くうて川
ぎこぎそねぎえ流こい石の宿ぎ
地ろこいこぎうぎいとえゆ

鴻田分　本　百七十六文
ろく　百十七文
二リ八十人　八十九文

以間石地ろうろう。
立物　東立物、まつこ宮村、
せーそめいく色、宮屋、一生ふ、
こゆるまろこ町、ゆ、こゆ稜ま、
八まんの宮ありうう宮この
町、とうぐ川おさいる川。

茨城方　本　百十七文
くらし七十一文
一リ九九十　人　八十文
立物　さくらま

以間石地ーー川原町立物
生魚、さーーえうりせこの
そめいひ色、そくちふ刻狂
ふーてごりとりーふくちば色
とめうこうるうまこ宮ゆ、
宮屋あうふ格色八幡ゆ宮の
宮屋東西百二町、八幡ゆ宮の町

国府方　本　二百四文
くらし百五十文
二リ　人　百二文
小松蒔屋　あくまま下
うつのゆ、ぐうつのゆ、

うりとりふけりーさ物こる
ふりどりてよーし以屋あひこ
ふこのゆそんとそどうざん
ごゆこうつの山のどうげ山屋
せぐく、一こ手の紙あく。

九子方　本　百十九文
くらし七十四文
一リ　人　八十九文
以間乃こーー、和立物安物
川かっこうーこ宮屋海水鮭
一寸鱒、一人ゆ七千文水ひこ
ちぶひ色ゆるのちゆ。
安物川、以みえ、紙ゆ宮屋石
めいぶうりり

府中方　本　百六十文
くらし百十二文
二リ九七丁　人　八十一文
以間石地ーーこうーー川原
町、二丁ゆちこて、柱女町立
宮、物、和立物、又米、米木細、
こめ物、和川、茶、芝川、海石
紙ゆ、宮物、行ゆ、石ゆ細、

江尻分　本一六十六文　ろう四十六文
一里三十人　三十二文
山間、谷地ろう作永表世
実ハ冊、あへぶろもてき酒
見ゆつ、いそろ川、そこうち
川、変ホ、ひ、ろ、ど、乃ホ、
植木、色、巻木、こ、ろ、の、変
ひ、ら見ゆ、ろ、き、け、ひ、ろ、
おろ、ろ川川　宿中

興津分　本二百九九文　ろう百四十八文
二里十三人　百十文
さろてこ、ろ、ろ、げ、の、あ、ま、ど、も、
あ、い、び、と、ゑ、ん、ゆ、ひ、川、お、ま、
ら、ず、ま、ち、ら、す、ろ、い、お、の、方
い、山、ま、て、た、ろ、く、た、い、た、川、ろ、
ろ、ら、ど、ま、い、ま、ま、ま、て、ま、
ま、ま、る、ま、ま、い、ま、ま、ま、ま、
さ、ろ、ふ、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
し、ま、て、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ら、ず、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

由井分　本六十二文　ろう四十七文
一里　人　三十一文
山間、谷地ろう、由井川
ひり橋、水場ひ、て、ら、ま、
ホ、ま、で、町、ど、ま、地、ま、ま、ま、
ま、村、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、

興津分　本二百十九文　ろう百六十二文
二里三十丁人　百八文
山間、谷地、乃、大、ろ、ろ、
ふ、ど、川、ま、ん、ホ、と、ま、ま、
の、ま、ん、中、ま、大、川、ホ、て、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
る、大、川、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
乃、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
の、ま、し、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
り、ま、ば、百、ま、ま、ま、ま、ま、
ど、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ち、ん、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

人家五百ばかり、まち人
ハ出さるべし、右ふかくの渡りふ
ふくこと、三ヶの条、ふくこ、ちい
ちかたごのうくいの川ゆとて
あり、ふかさハ胸ばかりにて、橋く
るるあり、ふくこの橋十八間あり、
うら条町、入口の橋五十六間あり、
条町の生こ、ゆ、ゆ、ゆ、右く
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
生まれ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、

高条分　家　百八十六軒
人ら百二十五人
三り　六丁　人　九十一人
柏橋ふくのもとの〜ふくみ
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
町、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、

条分　家　九十六軒
人ら六十二人
一り半　人　四十八人

山間ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、

沼津分　家　九十六軒
人ら六十二人
一り半　人　四十八人

山間ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、

て川へそろ〳〵と歩行
なり今ふちまでつゞくと云
こゝもろ〳〵宿むかひ新宿
ともいふべきさかひなりとも
うしのまことなりの時のまま
とて二川なのかうかう中に
あるこゝ稲荷神の社なふあり
の入口にふみ出どもとていと
もろ〳〵のざつこあり宿より

三河方 なかこ 六百六十六文
三里九八十人 二百七十六文

たつのかぶこ川やかさ
ひしゝゝろくあんすべし法
ちかぶ大きくまつかぜ町
ばかふちあいづざろひさうのか
ふるこ坂たつのうどんもあ
るふゝ山の松ゝあるたつのも
ふ一郎ゝんとうのせゝさ
うあり。ちやくゝ町ちと
ごゝてかれゝろゝ。なつい
ばりて去ゝふあゝく

箱根方 なかこ 七百二十八文
四里八十人 四百七十二文
三百六十四文

山間坂ばかり別て高嶮みちこ
のわりこゝろ八里
箱根作実所あり。
此来人はかはの山坂ばかり
作門ゝくゝ若ゝ作来
三本ゝ作本行樣い
相模小田原
作藏主 大久保加賀守

小田原方 なかこ 二百六十文
四里 人百三十文

いろゝゝこ町こゝるまゝ
もさかはあこゝろ川ゝ
てゝるゝ作ゝ法ゝふ稲ゝこゝ
人用ゝまゝゝ萩ゝろゝ出ゝ
ゝ中村ゝこゝ海ゝゝゝ
町ゝゝゝゝの間ふゝ中村
ゝこゝふゝこゝゝゝゝの
ゝ作ゝ町ゝゝ出ゝ間ゝ

さとり橋のとなりにふせこりとの
さひしーやうどとそこるあこそを
より。そこの中をぬけ。ぬけ山あこ
うしとんあるたかはたたかはたでう
ぶ橋このあたりにあるこんにゆあづ
まの別社とてそこるこーあり。
町の西橋あこ。ながさ十間あり。
ちかみぐるめこんたこ橋あこ。
ながさ十四間たかふあこ木はまり
あこうこぐちーーおうちん町へ
づまたんの方ふざこうあこぐう
さぶこのぶがうとも云町へ口
ふたい社のこんあこ小いこ町そづ
まはけーーあこまこさかふかはじを
あたんの方ふ石ぢざこうあこ。ぬ
けて人をたこうーーこそられ
しうるここかこびあこ橋十六間わ
り大塚町そづまこう。小塚こ並
本のれあこ。ちここ支沢といふ

大塚方　本　四十八文
ちち　三十二文
九七丁　人　九文

ひらつか町そづまこふるこあこ
ぐんのこんあこ。そづ子ぢこーこれて
のちここーーれあ。あまふ。ぬて。引
このり。会伝ヤセ。ーー。竜もこて
こと云。宝来ちこんあの橋こて。
四十三間の橋あこ。長安の石橋こ。
あるあこ。海こーてここけの
ここーーこ石ばいーーいちこ男。ふ
あぐまこあづこーーこ男。ふ
みもあぐらこるくこ。このこ
ろ。虎ゲ石とそこ。びんちち
ぎここひここれ。ぐんうーはし
と十けん坂。ぬまこーーづちち

平塚方　本　二百二十文
ちち　百四十文
三リ　人　百十三文

笹沢方　本　百二十四文
ちち　八十一文
一リ三十丁　人　六十二文

戸塚方　本　百丁文十文
ちち　百一文
二リ九丁　人　七十四文

経若方　本　六十九文　うら　四十八文
一り九丁　人　三十八文

神宮川方　本　百八十八文　うら　百六文
二りま　人　十八文

川崎方　本　百八十八文　うら　百六文
二りま　人　七十八文

瓜川方　本　百三十六文　うら　八十八文
二り　人　六十六文
大あま　扎過

扎過大仏ゑんま堂元方瓜川をこえ〜〜町右ゑうこがく
右ゑうこ扎過芦橋方七十四
見方あのくがへのたゑ日かは橋
のうへ方ちかはかはをこえ〜四三
ろのこのうえ山中あをこのこ
えのうあこえ家ゑん付方日わん
橋を十四町ゑんどゑ付方日かは
橋をこえ三町ゑれうはたの

るの名所死人の町境あり
つくおはくやい

江戸日かは橋

京方江戸を　百九十八里
本馬駄賃　九貫三百九十文
かち屋だちん　六貫七十二文
人足ごちん　四貫百八十文
いづれも七里元井を初め新
宿西ゑうも乗馬ゑうゑを別

木曽海道

みちのうどちんづけ
大坂方大津を六本海道を
京方　本　二百三十九文
三りゑ　うら　百八十四文
人　百十九文
けあげ門こだゑ　ゑうを　七ちい

大津方　本　二百三十八文
三りま　うら　百八十一文
宇人　百十七文
石ゑ　ちを　月わ　やゑう

薬つ方　本　百一文
一りま　うら　六十七文
人　八十文

守山方　本　百七十三文
　　人　百十四文
三リ半　八十文
大きのくに村　くにの宿

むさし方　本　百二十六文
二リ半　人　八十文
ほりがえ　六十文

ふち川方　本　百
二リ八丁　人　六十四文
　　四十九文
四十九院

高麗方　本　七十四文
一リ半　人　四十文
大わり村　三十七文

高井方　本　六十六文
一リ　六丁　人　三十六文
　　二十九文
すりもりまつげ

だんだ方　本　六十文
一リ　人　三十六文
　　二十四文

さめがい方　本　七十三文
一リ　人　四十八文
あんざ村　三十七文

のへ原方　本　三十六文
二リ　人　三十八文
　　二十四文

ハの人方　本　六十文
一リ　人　三十六文
　　二十四文

せきがわら方　本　七十三文
一リ半　人　四十八文
のらこむら　三十七文

たる井方　本　六十二文
一リ十二丁　人　四十一文
まちなら　三十八文

赤坂方　本　百十一文
二リ八丁　人　七十文
大しゅく　六十三文

美濃ちる方　本　六十六文
一リ　六丁　人　三十七文
　　二十九文

合渡方　本　八十文
一リ半　人　五十三文
　　四十一文

加納方　本　二百七文
四リ八丁　人　百六十八文
　　百四文
　　弱か絶　北間茶屋

稲葉方　本　百十七文
　　人　七十三文

二里　人　六十六文
うりかたち

戸田分　百十七文
二里　うち七十三文
人　六十六文
今泉村

仮宮分　三十八文
一里六十　人　三十八文
二十四文

御嶽分　百六十七文
三里　うち百十二文
十七本　人　八十二文

細久保　八十六文
一里卅丁　人　うち
一つや　人　四十二文

大鍬分　二百二十八文
三里半　人　百四十六文
百十二文

大くぼ　ふるる　巻金坂

大井分　百三十二文
二里半　人　八十二文
坂本　小田原　六十四文

中津分　六十六文
一里　五丁　人　四十三文
十六軒村　三十四文

落合分　六十六文
一里　五丁　人　四十三文
皮岩村　三十四文

[illegible]分　百二十九文
二里　人　八十六文
[illegible]　一石五斗　六十二文

[illegible]分　百四
一里半　人　六十六文
中野村　三十四文

[illegible]　百四十九文
二里半　人　七十四文
[illegible]村　十二ケ板村

豊屋分　百十九文
一里卅丁　人　七十四文
六十八文

[illegible]分　百八十九文
三里　百二十四文
九十　人　九十二文
[illegible]　立丁　[illegible]

上ケ松分　本　五百六十七文
二リ半　人　百十一文
八十
中平村

福嶋分　本　九十二文
一リ半　人　八十九文
四十八文

仰雲宗淫オンナ女敬後地改
栗本村

大の瀬　本　百四文
二リ　人　六十六文
八十文

数原分　本　九十二文
一リ半　人　八十九文
四十八文
三新屋敷

高良井　本　八十八文
一リ半　人　八十八文
四十三文
水流村

奥川分　本　百十七文
二リ　人　六十三文
八十六文
あとのこるげあと改
さくらこし　さくらだ

中山分　本　三十七文
三十丁　人　二十四文
十九文
まるこの村

洗馬分　本　八十八文
一リ半丁　人　八十八文
四十三文
指文が原

塩尾分　本　百九十二文
三リ　人　百二十文
六十四文
ちこし　芝の夢屋　赤坂

下領分　本　四百二十三文
五百七十三文
二百十一文
ちこし　人
八十
ちこし
ちこし
ちこし

上和田　本　百八文
二リ　人　六十七文
下畑
八十二文

長窪　本　七十二文
一リ半　人　四十八文
三十六文

戸田分　本　八十六文
三十六文
二十九文
一リ八十　人

布月 石 四十一文 高 三十六文 人 二十文 卅二丁

八幡 石 三十六文 高 二十四文 人 十九文 卅七丁

塩瀬 石 六十二文 高 四十一文 人 三十一文 一リ半

宮村 石 八十六文 高 三十七文 人 二十九文 一リ七丁

小田井 石 八十九文 高 三十八文 人 三十文 一リ十丁

遊分 石 八十文 高 三十八文 人 二十四文 一リ三丁

沓掛 石 八十三文 高 三十六文 人 二十六文 一リ八丁

狐井決 石 二百三十文

二リ半 高 百八十一文 人 百十九文 山中村 二リ半八丁

坂井 石 百三十八文 高 百文 人 六十七文 二リ半

横川宮ホ上方八ヶ所入 ウラの木 上下女切ヶ浮役

板井田 石 百二十四文 高 八十文 人 六十文 二リ半六丁 八ヶ木村

安中 石 四十四文 高 三十文 人 二十二文 二十丁

板鼻 石 百三文 高 六十六文 人 丁 文 一リ卅丁

[illegible]

高崎 石 六十四文 高 四十三文 人 三十二文 一リ十九丁 [illegible]

倉賀野 石 七十八文 高 八十二文 人 三十九文 一リ半

中ノ郷

彩町方　百文　六十八文　人　二里　石井村　人　八十一文

京橋方　百四十文　九十一文　人　二里九丁　人　七十一文　信濃堂　宗敦

源右方　百四十四文　九十一文　人　二里九丁　人　七十文　ゆいわり　彩町

熊谷方　二百二十文　百四十八文　人　四里八丁　人　百十一文　久下原

鴻の巣　八十文　六十文　人　一里九丁　人　四十二文　あづま村

櫛川　四十四文　三十文　人　三十丁　人　二十三文

上尾方　九十四文　六十二文　人　四十八文　二里八丁　人　五郎　去方

大宮方　八十九文　四十一文　人　三十文　一里十丁　人

浦和方　六十四文　四十三文　人　三十四文　一里半　人　白幡村

蕨方　百十文　七十文　人　八十三文　二里八丁　人　戸田村　志村

板橋方　百十七文　七十三文　人　八十六文　二里　人　けんせいが谷

江戸日本橋

京方江戸ヨリ百三十六里半　ほかるだろう　七文六百八十一文　四ろうしり　八文八十四文　四ろんそく　三文八百四十八文

中山道

間八丈物
結賀天明敬

大坂より大津より京海道

京分　二百三十九文
二里余　人百十九文
ゆあげ　奴茶やどり代　壱井

大津分　二百三十九文
三里半　人百六十一文
たかべ　はま　月わ　ゆう

草津分　百一文
一里半　人六十七文
丁人十文

ゆうつ山分　百七十三文
三里半　人百十四文
大きのゝ村　ぐうの宿

武佐分　百二十三文
二里半　人八十文
ほうかうみち

愛知川分　百六十四文

一里八十人　四十九文
四十九院

愛知分　七十四文
一里半　人八十文
太郎村へ　三十七文

多賀分　六十六文
一里半　人三十六文
磨井坂　人二十九文

愛荘分　六十文
一里　人三十六文

醒井分　七十三文
一里半　人四十八文
あんさん　三十七文

柏原分　六十文
一里　人三十六文

今須分　六十文
一里　人三十六文

関ヶ原分　七十三文
一里半　人四十八文

一りま人　三十七文
愛上村

畜井分　戸百二十二文
二りま人　七十八文
八十九文

大垣分　戸百　四文
二り四十人　六十六文
八十文

例殿分　戸百三十二文
二りま人　八十八文
六十六文

屋敷分　戸四十八文
一り人　三十一文
二十三文

鍋屋分　戸七十二文
一りま人　四十八文
三十六文

稲葉分　戸六十文
一りま人　四十文
三十文

清例分　戸七十八文
一りま人　八十文
四十文

名護屋分　戸百二十文
一りま人　八十文
六十文

宮　是分赤海辺へ出る
赤分此所ゟ三十九里十丁
日数百七十二文
日ゟ屋　三分四百三十八文
日人足　三分八十七文

だちん日のこと
法華宗　三十六貫目
野尾あぶ舟　十八貫目
人足　六ツ人目まで
船之図日　ゆそもけざる用こてえ甘のうと
へさぐめ子一張之日ゟ
一ゟ吉日とちん
此乃子紀當時改ゟ文方
一ゟ遠へ出ゟ板之出和七
てゟ長崎迄ゟ
右くゟ本悪逐吟味今者板平
寛政二庚戌正月　吉日
京寺町通松原上ル町西側ゟ
菱屋治兵衛　改板

110X
547
17
KEIOGIJUKU UNIVERSITY
5